

重点目標一覧表

担当部局名	生活環境部
-------	-------

【平成25年度重点目標】

【平成26年度重点目標】

重点目標	資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進	重点目標	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	
1	資源循環型施設建設に向けた広域連合との連携と協力 生ごみ堆肥化モデル事業の推進 廃棄物の排出抑制及び適正処理の啓発 ごみの資源化の推進	地元からの質問書に回答、組織体制の整備 生ごみ約7.3トンを試験施設で堆肥化 可燃ごみの量 対前年度比 593トン（ 1.67%） ごみ減量化機器等購入費補助制度を拡充 剪定枝木類の資源化482トン	資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元住民との合意形成への取組 (1)意見交換会の開催、先進地視察参加へ向けた関係団体への申し入れ (2)意見交換会等による地域要望を踏まえた地域振興策の検討 し尿前処理下水道放流施設の整備検討 (1)建設に向けた地元住民との合意形成 (2)技術的検討（し尿等の下水道投入方式及び建設候補地の選定）	(1)平成26年5月まで (2)通年 (1)通年 (2)平成27年3月まで	
2	再生可能エネルギーの利活用と地球温暖化防止対策の推進	再生可能エネルギー利活用の推進 上田市地域新エネルギービジョン中間見直し 自然エネルギー・省エネルギーの普及 第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画の推進 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施	再生可能エネルギー利活用の推進 塩川大規模太陽光発電事業の候補者決定 市所有施設屋根等貸付事業の候補者決定（5施設） 委員会3回開催 10月30日答申、11月22日決定 太陽光727件、太陽熱18件、雨水24件、 防犯灯LED化補助2,887件 緑のカーテン、夏・冬の節電対策実施 環境放射線測定 7箇所8地点延べ106回実施	資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進 生ごみの減量化 (1)乾燥生ごみ堆肥化の実証実験、ポイント制度の検討 (2)通風乾燥型生ごみ処理機のモニター調査を実施 紙類の資源化の推進 雑がみ回収袋を配布 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 可燃ごみ量の削減	(1)平成27年3月まで (2)モニター調査を9月から実施 (半年間) 9月頃までに配布 対前年度比 525トン（ 1.5%）
3	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 自治会等への防犯講習会13回実施 警察と連携強化、特殊詐欺被害防止アドバイザーを全自治会長に委嘱 駅前パトロール30回実施(677人参加) 夏祭りパトロール2回実施(361人参加) 子どもを主な対象とする安全教室を延べ101回実施 高齢者を対象とした交通安全出前講座を3回実施 シートベルト着用率目標97%を達成 啓発チラシを配布、 くらしの教室講演会開催(190人参加)	再生可能エネルギーの利活用と地球温暖化防止対策の推進 再生可能エネルギー利活用の推進 小学校等の屋根等の貸付先の選定 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施 全市一斉アレチウリ駆除、一斉河川パトロール、環境放射線測定 自然エネルギー・省エネルギーの普及 第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画の推進	12月までに2校以上の貸付先を選定 全市一斉アレチウリ駆除6月 一斉河川パトロール2回 環境放射線測定91回 太陽光513件、太陽熱20件、雨水32件、 防犯灯のLED化3,042件補助 緑のカーテン、夏・冬の節電対策実施	
4	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 下水道接続事業等4事業のほか2団地の耐震を実施(結果；耐震対策不要) 現年度分収納率95.18%、 滞納繰越分収納率10.08% 24年度に判決が確定した1名に対し、市営住宅の明け渡しを実施	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進 県、警察及び各種団体と連携・協力し、悪質商法や特殊詐欺などの消費者被害防止対策を実施、消費生活相談体制の充実 防犯意識の高揚と地域における安全活動・暴力団排除の推進 駅前パトロール、夏祭り等における防犯パトロールの実施 子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進 シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	一般、若者、高齢者など世代別啓発の実施 消費生活センター設置検討：平成27年3月まで 地域安全運動 年4回実施 駅前パトロール30回、夏祭りパトロール及び 青色回転灯防犯パトロール210回実施 安全教室100回実施 シートベルト着用率97%以上	
5	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 下水道接続事業等3事業を実施 (2)整備方針の作成 (1)95%以上 (2)前年度実績10.08%以上 法的措置を視野に入れた取組	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上 市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討 住宅使用料の収納率の向上 (1)現年度分収納率 (2)滞納繰越分収納率 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	(1)下水道接続事業等3事業を実施 (2)整備方針の作成 (1)95%以上 (2)前年度実績10.08%以上 法的措置を視野に入れた取組	

市長指示事項	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環型社会について、住民意識の醸成が図られるよう機会を捉え説明し、理解が得られるよう鋭意取り組むこと。 可燃ごみの減少については、啓発に力を入れ継続して鋭意取り組むこと。 再生可能エネルギーについては、継続的な取組を行うこと。 	市長指示事項	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみの減量については、減量となった要因を分析し、引き続き効果的な施策を講じて進めること。 悪質商法・特殊詐欺被害防止については、県と連携して効果的に実施すること。 市営住宅の整備課題については、様々な手法も検討しながら解決に取り組むこと。 資源循環型施設については、広域連合と連携し早期合意形成に向けて鋭意取り組むこと。
--------	---	--------	---